

(社) 日本コンクリート工学協会四国支部

第4回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事録(案)

1. 日 時 : 平成 19 年 7 月 24 日 (火) 13:30~16:00
2. 場 所 : 徳島大学工学部建設棟 3 F A303
3. 出席者 : 上田委員長, 石井, 上路, 河野, 山地, 橋本, 原田, 堀井, 水口, 横田, 吉川, 渡邊 の各委員
(敬称略, 順不同) 以上 12 名
4. 配布資料 :
 - 4-0 第4回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事次第
 - 4-1 フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会 委員名簿
 - 4-2 第3回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事録(案)
 - 4-3 第3回「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」議事録(案)
HP用
 - 4-4 WG1(利用現状調査WG) 活動経過報告
 - 4-5 WG2: 有効利用法検討WG 資料
 - 4-6 フライアッシュ混和既設コンクリート構造物の調査(案)
 - 4-7 フライアッシュⅡ種をセメントの一部代替使用したときのコンクリート性状の確認
 - 4-8 Ⅲ種フライアッシュコンクリートの長期性状に関する検討結果
5. 議 事 :
 - (1) 委員長挨拶
上田委員長より第4回研究委員会開催にあたっての挨拶があった。
 - (2) 前回議事録(案)の確認
資料4-2の第3回研究委員会議事録(案)が上田委員長より説明され, 異議なく承認された。
 - (3) 各WGの活動方針について
各WG主査からWG活動状況の説明があり, 議論の結果, 以下の点が確認された。
 - ・ WG1「利用現状調査WG」では, 資料4-4に示すようにアンケート調査票の送付を完了し, 現在回答票が集まりつつある。今後は, 各委員で作業を分担して, 集計と分析を進めたい。
 - ・ WG2「有効利用法検討WG」では, 資料4-5に示すように現在文献リストと文献カードの作成を進めている。文献リストの作成はかなり進んでおり, 今後はピックアップした文献について文献カードを作成していく。実験的検討については, 現在徳島大学と阿南高専で計画を進めている。
 - ・ WG3「耐久性評価WG」では, 資料4-6に示すように, 既設構造物調査の計画を立案した。今後は具体的な日程やコアの採取場所などを管理者(松山河川国道事務所)と相談していく。実験的検討は, 徳島大学と, 高知高専および大和生コンで進めている。
 - (4) 話題提供
資料4-7を用いて, 原田委員からⅡ種フライアッシュをセメント代替で10%あるいは20%混和したコンクリートの諸性状に関する検討結果の一部が報告された。また, 資料4-8を用いて, 橋本委員からⅢ種フライアッシュを細骨材代替で用いたコンクリートの長期暴露実験について紹介があった。さらに, 石井委員から建築学会でFAコンクリート指針の改定作業が進められているとの紹介があった。
6. 次回の予定 : 日時 : 平成 19 年 10 月 24 日 (水) 13:30~, 場所 : 徳島大学工学部

報告者 : 上田
以 上